

京町家まちづくり調査アンケート 自由意見について (意見総数 378件)

町家及び町家の保全・再生に関する意見等(283件)

A1 町家の定義に関する疑義・質疑(25件)	
町家がどのようなものかわからない。	「京町家」の定義について、多くの方から質問をいただきました。今回の京町家まちづくり調査では、外観調査によりアンケートを投函させていただきました。調査対象となっている京町家は、戦前に市街化されていた地域に建つ伝統的な軸組木造の平家、中二階、総二階、三階の一戸建てで長屋も含んでおり、かなり広範囲のものを対象としています。一般的には、瓦葺きの平入りの大屋根を持ち、京町家特有の外観(大戸、木格子戸、木枠ガラス戸、虫籠窓、木枠ガラス窓、土壁、格子)を有しているもの、または過去に有していたものを考えています。(今回は、外観全体を看板のように変更しているものも含めています。)ほかに「京町家」の特徴として、外壁又は高塀が通りに接しており、隣家と軒を連ねて、連続した町並みを構成しています。京町家の一般的な間取りは、通り庭が奥まで通じており、一方には、店の間をはじめ和室の続き間で構成され、建物の規模にもよりますが、坪庭や奥庭等を有しているものもあります。すでに通り庭の床を上げられたり、内装や間取りを改修されたりされていても、外観上その判別はできませんので、「京町家」として調査対象としております。建物の用途は、専用住宅、事業併用住宅、事業専用も調査対象としております。
町家の定義を教えてください。	
きちんと定義すべき。	
自分の家は町家ではないと思う。	
前回調査と今回調査の観念が異なっている。	
A2 町家の保全・再生の方針に対する意見(15件)	
京都市の方針に賛成。期待。協力したい。いい取り組み。	「京町家」は、京都のまちの歴史、文化の象徴であり、今日もなお多くの市民の皆様の都心居住をささえているとともに、京都らしい美しい町並みを形成する市民の財産です。こうした京町家の価値を、市民の皆様に広くご理解いただくことが、重要であると考えております。京町家を維持していくためには、多くの課題がありますが、京町家にお住まいの皆様のご意見を参考にさせていただきながら、保全・再生の取組を進めて参ります。
町家、町家と言いきり。騒ぎすぎではないか。	
家屋は時代に応じて変化するのだから、即応すべき。	
町家を残して住みにくさを住人に我慢させるのか。	
町家を守ること自体意義があるのか。	
維持が大変なのに、残せという行政は身勝手	
無理に町家を残す政策に反対	

A3 町家の保全・再生に取り組む姿勢に対する意見・要望(40件)	
町家の保全・再生の検討・取組が遅い。手遅れ。いまさら遅い。	京町家の保全・再生の取組が遅すぎる、不十分であるというご意見をたくさん頂戴しました。このようなご意見を真摯に受け止め、市民の財産である京町家を生かしたまちづくりを推進してまいります。
町家の保全とビル・マンションの建設の許容について政策が矛盾している。	
取組むのが遅いが、進めてほしい。	
調査時期が遅い。	
町家(景観)を保全するなら、援助方法を考えてほしい。	
税金・修繕費等の金銭面での対応がない。	
町家等の減少は、京都市が進める観光事業に逆行	
町家や景観の保持していく気があるのか。ブームに乗せられているだけではないか。	
A4 町家の保全・再生策に関する意見・要望(58件)	
施策メニューが必要。施策に期待。	京都市におきましては、平成12年に京町家再生プランを策定して、21項目のアクションプランを掲げ、京町家の保全・再生の取組の出発点といたしました。今回、皆様から、補助制度、税制、マンション問題等様々な視点から、行政に対して具体的な意見をいただきました。非常に難しい課題もございますが、皆様のご意見を参考にしまして、アクションプランの検証と、新たな施策への展開に取り組んでまいります。
税の優遇措置が必要	
規制が必要	
マンション・ビルの建設禁止・抑制等が必要	
資金援助、補助金が必要	
融資制度が必要	
家屋の無料点検をしてほしい	
公的な総合相談窓口を設置してほしい	

中京中心部にはできる限り洋式建築を控えるよう市が指導すべき	
町家の耐震工法を提案すべき	
耐震等に対し信頼できる調査・相談窓口の設置・業者斡旋してほしい	
同じ町家で観光地なのに、公的支援が受けられる場所と受けられない場所があることに疑問がある。	
「町家しかだめ」というモデルケース的なまちづくりもよいのではないか。	
A5 今後の町家の保全・再生の取組のあり方、検討の進め方に関する意見・要望(31件)	
行政が町家の保全・再生を積極的に進めていくべき	「京町家」は、京都のまちの歴史、文化の象徴であり、今日もなお多くの市民の皆様が都心居住をささえているとともに、京都らしい美しい町並みを形成する市民の財産です。京町家を維持していくためには、多くの課題がありますが、皆様のご意見をお聞きしながら、課題を整理し、総合的な取組を進めて参ります。
町家の保存(点)が町並の保存(線,面)にもつながってほしい。	
町並みの保存を検討してほしい。	
町並みにあった町家の外観を残してほしい。	
居住空間全体の特徴を生かした町家保全が大切。町家の内部も大切。	
空地,空き家対策も重要	
市民の目線で方針を考えてほしい。	
職人の技を継承してほしい。	
民家として居住することに力を入れてほしい。	
町家について正しく理解をすることが必要	
複雑な登記物件がたくさんあると聞くので、法務局を交えて検討してほしい。	
住民と行政で今後のまちのあり方を話し合うことが必要	

アンケートや住民の声をよく聞いて、施策を検討してほしい。	
町家に関する職人が、時代の波にのりきれず後継者がいても育てられないという現実を忘れないでほしい。	
町家の保存は町の一部でよい。	
B1 町家の維持修繕・改修に関する問題(52件)	
町家の維持修繕・改修にはお金がかかる。ローンが負担	京町家に住み続けていくためには、維持・修繕の費用の問題をはじめとして、様々な苦労や課題があるとのことご意見をいただきました。京町家の保全・再生のためには、多くの困難な課題がありますが、皆様の意見をお聞きしながら、課題を整理し、総合的な取組を進めて参ります。また京都市景観・まちづくりセンターにおきましては、京町家に関する悩みや不安をお持ちの方を対象に、京町家なんでも相談を行っております。お気軽にご相談ください。
修繕価格、信頼できる工務店の情報がない。	
改修工事、補強方法の情報・指導がほしい。	
借家なので自由に修繕できない。	
今後修繕できるか不安	
具体的な改修箇所・内容について	
B2 町家の耐震性・防火性・防犯性(23件)	
地震、耐震性が不安	今回実施しましたアンケート調査におきましても、住み続けるうえでの問題として、耐震性・防火性を上げた方が最も多いという結果でした。現在、京都市におきまして、京町家等の伝統的な木造住宅の耐震手法について調査、研究を進めており、有効な耐震改修の手法を確立して、市民の皆様にお知らせしていきたいと考えております。
防火性が心配	
防犯性が心配	
B3 マンション・高層ビルの立地による居住環境の悪化(16件)	
マンション工事により家屋等に影響があった。	マンションの工事に際しましては、騒音、振動等様々なトラブルが生じます。工事着手前の十分な説明や話し合いが必要なのはもちろんのこと、京都市といたしましても、よりスムーズな話し合いの場が持てるような行政施策としてのシステムができないか、検討してまいります。また、高層建物が隣に建つことによる日照や風害、騒音等について具体的なご意見をいただきました。地域とマンションが共生していくためのルールづくり等のお手伝いができないか検討してまいります。
日照、通風が悪化	
治安・マナーの悪化	

B4 町家の住みにくさ, 不便さ(23件)	
町家は住みにくい	京町家にお住まいの方の, 生活に根ざした貴重なご意見をたくさんいただきました。京町家の保全・再生に向けた取組の推進にあたり, こうしたご意見を参考にさせていただきます。
不便	
税金が問題	

行政の政策, 姿勢全般に対する意見(64件)

C1 行政の政策や姿勢における問題点等(18件)	
マンションの乱立が問題。景観台無し	多くの皆様から, 京町家の再生, 保存に対して賛同されるご意見, 京都市の京町家再生プランの推進に期待するご意見, 京町家に住み続けていくことを希望するというご意見, 後継者がいないという悩み等多くの意見や感想をいただきました。皆様のご意見につきましては, 京町家やまちづくり全体の総合的な施策の立案, 実施に際して参考にさせていただきます。
ビジョンがない。無計画。計画が遅い。	
行政の耐火建築物の指導により景観が変わった。	
最近の木造建築技術に対する疑問	
町並み・景観に対する行政の理解がない。	
町並みが統一されていない。行政の怠慢	
町家の対応等について提案したが行政の回答がなかった。	
行政の縦割り組織が問題	

C2 とるべき政策のあり方, 行政の姿勢全般に対する意見・要望(41件)	
(町並み・景観・デザインに関すること)	多くの皆様から, 京町家の再生, 保存に対して賛同されるご意見, 京都市の京町家再生プランの推進に期待するご意見, 京町家に住み続けていくことを希望するというご意見, 後継者がいないという悩み等多くの意見や感想をいただきました。皆様のご意見につきましては, 京町家やまちづくり全体の総合的な施策の立案, 実施に際して参考にさせていただきます。
町並み景観保全のための対策, 支援策が必要	
道路上の広告物, はみ出し展示物, 看板の撤去	

色や材料の統一等について検討してほしい。
景観法案に対してもっと声をあげるべき。
俗悪な看板に課税すべき。
看板, テント, 塀, 門扉等の優れたデザイン誘導をすべき。
瓦屋根の家を維持すべき。
近隣景観に不調和な建物を何とかしてほしい。
町並みを保全するための規制が必要
優れたデザイン誘導の補助制度
(都市計画やまちづくりに関すること)
将来を見据えた都市計画が必要。都市のあり方を考えてほしい。
京都らしさを維持する総合的な対策を実践してほしい。
建築物の用途や高さの規制を強化してほしい。
町並みの保全と自由なまちづくりの両立を考えていくことが必要
商業地域そのものを再考すべき。
(マンションに関すること)
マンション建設を禁止・抑制することが必要
マンション建設について住民への事前相談が必要。市が周辺住民の意見を聞くべき。
小さなマンションの自転車置き場の設置について対応してほしい。

(その他)	
建物も大切だが、交通問題も考えてほしい。	
D その他(5件)	
前面道路が1.5mなので建て替えが不能。見解を聞きたい。	多くの皆様から、様々なご意見やご感想をいただきました。こうしたご意見につきましては、今後の京町家やまちづくりの施策の立案、実施に際して参考にさせていただきます。
センスのよい人にリーダーになってほしい。	
補助金制度を知りたい。	
土地を活かした収入につなげる方法はないか。	
個別の旅館を特別扱いするな。	

京町家まちづくり調査に関する意見等(31件)

E1 調査の意義・目的に関する意見(5件)	
調査は無駄	京町家の現状やお住まいの皆様のご意見などを把握するために、今回の調査を実施しました。多くの皆様からご協力をいただき、たくさんのご意見を拝見することができました。こうした貴重なご意見を、今後の施策にしっかりと反映させていただく所存であります。
調査だけなら意味がない。	
何度も同じ調査をして税金の無駄	
調査の目的を明示すべき	
E2 調査方法に関する意見(6件)	
投函の方法が問題	今回の調査におきまして、こちらの不手際でご不快な思いをされた皆様にはお詫び申し上げます。いただいたご意見については、有効に活用させていただくとともに、プランバシーの取扱いには厳重に注意いたします。
勝手に投函されて迷惑	
調査員に不信感を持った。	

町家でないにアンケートが投函された。	
複数投函された。効率よくすべき。	
面談も必要ではないか。	
E3 アンケートの内容・設問に関する意見(15件)	
アンケートの設問がわかりにくい。答えづらい。	今回の調査におきまして、こちらの不手際でご不快な思いをされた皆様にはお詫び申し上げます。いただいたご意見については、有効に活用させていただくとともに、プランバシーの取扱いには厳重に注意いたします。
個人に立ち入った質問は不要。金銭に関する設問は不要。	
アンケートの設問が偏っている。十分でない。	
こんなアンケート迷惑だ。	
E4 調査結果の報告に関する質問・意見(5件)	
調査結果は発表するのか。	今回の調査結果につきましては、ホームページ等で広く公表するとともに、調査にご協力いただいた地域の皆様には、回覧板等で結果をご報告させていただきます。
結果を報告すべき。	